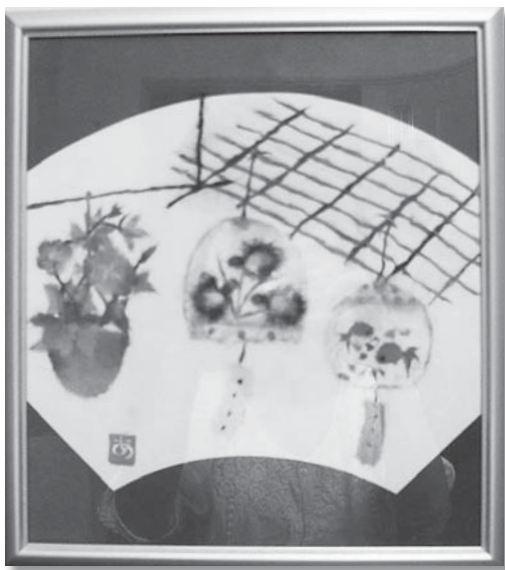


組合員の作品



バッグ
ともしぎ支部 緒方 容子



ちぎり絵
守口東支部 中西 昭夫



絵手紙
門真西支部 高橋千穂子



ぬり絵—どちらが本物でしょう
門真西支部 船津丸ミツエ

俳句

梅雨明けの月中天に戻り道

灼け手すりたのみ二階へレストラン

みい西支部

菅原 昌子

短歌

炎天の畑仕事の昼休み竹林の湧水もろ手で掬う

門真中央支部

兵頭 克己

紅きまま萎れぬままにヤブツバキ黒き山路に落ちて艶めく

守口さつき西支部

木下 一

鉄鍋を息子は揺すり振り上げてキャベツ飛びはね香ばしい匂い

守口さつき南支部

酒井八重子

我が友の就職祝いに中華鍋送りて早も五十年たつ

守口東支部

中嶋 順子

「たび」のおまけ ②

名も知らぬ遠き島は

〇〇島? 愛知 田原市

ふとした時に口ずさんでいる歌。あなたの愛唱歌は何でしょうか?

私の好きな歌のひとつが『椰子の実』(作詩島崎藤村・作曲大寅二)です。名も知らぬ遠き島よりの

『椰子の実』の歌ゆかりの地・伊良湖を訪ねました。伊良湖のシンボルは「日本の灯台50選」に

選ばれた伊良湖岬灯台。美しくかわいい灯台です。その先に約一

*にわたり湾を描く恋人の聖地・恋路ヶ浜が続いています。

『椰子の実』の歌をめぐる柳田国男(1875~1962)と島

説明してくれました。観光ビューロー主催で毎年「椰子の実投流」のイベントが行なわれています。沖縄の石垣島から200個近い椰子の実を投流します。「それで伊良湖に漂着したのですか」

「日本の海岸に9個がそのひとつです。しかし、伊良湖にはひとつもありません」と残念そうな河合さん。これは昨年の結果です。今年(2018年)の状況を観光ビューローに問い合わせてみました。今年は110個の椰子の実を六月十七日に投流します。今年こそ恋路ヶ浜への漂着を期待したいですね。

名も知らぬ遠き島を石垣島にみだてて行なっている「椰子の実投流」。ロマンを感じさせるイベントではありませんか。

門真南支部

福山 斌尋



伊良湖岬灯台



椰子の実

